

## 【新着情報】

### 武漢国際ハーフマラソン開催:

2008年武漢第1回国際ハーフマラソンが、5月3日に開催される。本大会は、武漢統一企業食品有限公司と日本スターツコーポレーション株式会社がメインスポンサーとなり、ハーフマラソン(21.0975km)と市民健康づくりマラソン(5km)の2部門が設けられる。

各コースは長江沿いに設計され、武漢市の長江バンドを十分に楽しむことができる。

ハーフマラソンは21.0975km。長江公園武昌バンド藍湾俊園からスタートし、臨江大道、新河街、新生路、友誼大道、湖北大学、徐東路(地下通路)、三弓路、和平大道、長江二橋、麻陽街ロータリー、長江公園漢口バンド麻陽街入口、漢口バンド市政府歩行道、市政府広場を通過し、三峡石広場をゴールとする。

健康づくりマラソン(5km)のコースは、長江公園漢口バンド一期工程の天津路水門の給水口から漢口バンドの市政府歩行道、三陽路水門給水口を経て、漢口バンドのスポット歩行道を周り、三峡石広場をゴールとしている。

スタートは5月3日午前8時。 (4月12日)

### 第三回光谷国際アニメ祭終幕 「武漢龍」決勝戦出場決定:

昨日終幕を迎えた第三回アニメ祭において、華々しい結果が報告された。

中国を代表する「武漢龍」チームが26対18と韓国代表チームに勝利。シドニー代表チーム「Underground」とともに、今年7月アメリカ・ロサンゼルスで開催されるビデオゲームのプロリーグ戦、CGS 世界大会の決勝戦に出場することが決まった。これは優勝賞金100万ドルをかけた世界大会である。

決勝点を決めたのは「武漢龍」の美人プレイヤー、Catpower。格闘で5対2という結果を残した。

統計によると、アニメ祭の各イベントに参加した市民は8万人以上、オリンピックサイン壁でサインをした市民は約5万人、そして出展企業は国外企業9社を含む、180社にも上った。さらに現地で取材を行った報道陣は、国内外を含め150人に及んだ。

(5月4日)

### 武漢市の大学生76名 オリンピックでのおもてなし業務を担当:

すでに北京へと向かった227名の調理師に続き、武漢商業服務学院から選抜された76名の学生が、オリンピックの開閉会式、および飲食関係の業務に従事するため、北京へと向かうことになった。

武漢商業服務学院の責任者の話によると、選抜された学生らはホテル管理・航空服務専攻科に所属しており、昨年武漢市で開催された第6回都市スポーツ大会および女子ワールドカップサッカー大会の参加経験もある。

昨年末、オリンピック指定ホテルによりスカウトされた76名の学生のうち、一部の学生が北京で行われていた「両会」の礼儀服務に参加。これが高く評価され、今回のオリンピック参加に至った。

同責任者によると、現在76名の学生らは北京での研修を行っており、このうち35名がオリンピックの選手村へ派遣され、パラリンピックの閉幕まで従事する。

(5月6日)

#### 聖火リレー 29日武漢へ:

5月29日、北京オリンピック聖火が武漢市入りする。これにともない昨日、市政府常務会による関係注意事項研究会議が行われた。

武漢市内の聖火リレーは5月29日午前8時にスタートし、207名の聖火ランナーが、52名の警備ランナーとともに聖火をつなぐ。リレーは午後4時ごろ、終着点での祭典をもって終了し、武漢を後にした聖火は宜昌へと向かう予定である。 (5月17日)

#### 湖北省聖火リレー31日に 武漢での祭典中止:

四川省汶川省大地震の影響を受け、武漢でのオリンピック聖火リレーは2日間、延期され、当初予定されていた29日は、スタートは30日のみとなった。 (5月23日)